

C05 江波中学校区「笑顔輝け！運動」推進会議

代表者：炭谷 寛司

住 所：広島市中区舟入中町1-36 広島市立神崎小学校内

TEL：082-293-1925

① 担当社会福祉協議会

広島市中区社会福祉協議会

住 所：広島市中区大手町4-1-1 中区地域福祉センター内

TEL：082-249-3114

② 地域課題の解決のための事業の名称

「笑顔輝け！」未来創生プロジェクト

③ 事業の総予算額(助成金申請額)

1,050,000円(1,050,000円)

④ 事業の目的

「輝く笑顔で溢れる未来の創生」を目指し、その実現に直接携わることになる子どもたちを、学校・家庭・地域が一体となって、まちぐるみで育成する。

⑤ 事業の内容

「輝く笑顔で溢れる未来の創生」を目指し、その実現に直接携わることになる子どもたちを、学校・家庭・地域が一体となって、まちぐるみで育成するため、また、小学校から中学校への確実な接続を実現し、教育の要である学校教育の一層の充実を図るため、広島市中区の江波中学校区に位置する神崎小学校区、舟入小学校区、江波小学校区の各学校、PTA、社会福祉協議会、子ども会等の地域諸団体が連携し、「夢や志をもち、ともに未来を切り拓く子どもの育成」を共通の目標に掲げ、①生涯に渡り役に立つ基本的な態度の育成(家庭)、②人生を貫く指針となる考え方や姿勢の育成(地域)、③徳性を本体とする「生きる力」の育成(学校)を図ることが必要であると考えます。

「輝く笑顔で溢れる未来」を創生するためには、この取組が一過性のものであってはならず、「30年間継続し、50年後に花開き、100年後に豊かな実りを迎えるまちぐるみの教育の創造」といった長期的な視点のもとに進めることが肝要である。

こうした考えに立ち、この運動の基盤を固め、地域全体の機運を高めるとともに、その一層の充実を図るため、平成27年度から、地域テーマ募金に取り組み、地域等に設置する幟旗、家庭等に掲示するステッカー、児童のランドセルに取り付けるカード等を作成・配付するなど、3小学校区の地域諸団体が連携したまちぐるみの教育をスタートし、一定の成果が認められるようになった。ついては、少なくとも開始年度に小学校1年生であった児童が卒業するまでの5年間は、この取組を継続し、地域の取組として発展・定着させていきたい。

⑥ 備考